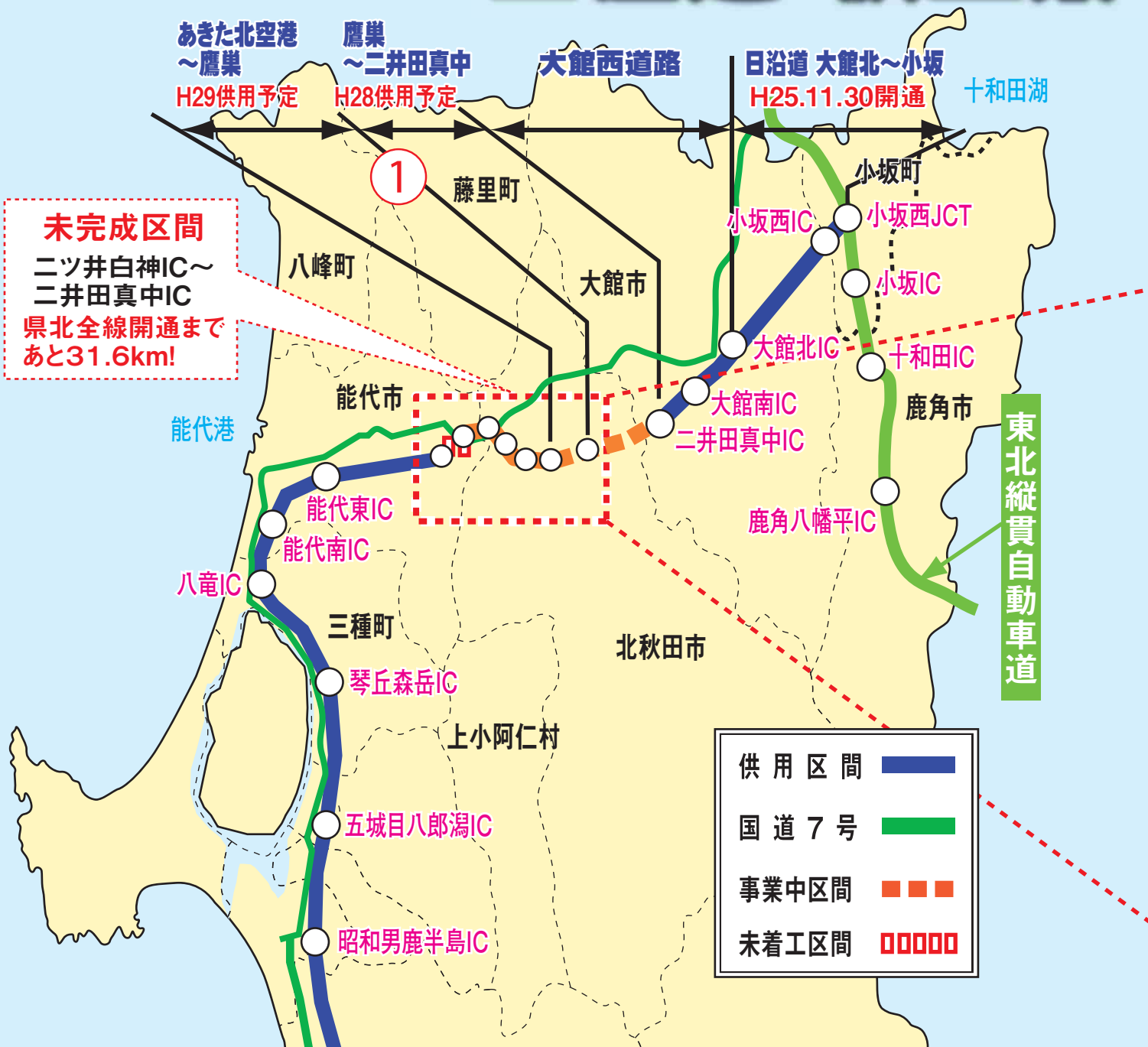


日沿道 秋田県



つながる命
秋田県北部地域にとって、最も身近な高度医療施設は秋田市と弘前市にあります。その施設に60分以内に到着できる人は全体の76%にとどまっています。日沿道が整備されるとその割合は97%となり、救命率の向上が期待されます。



豊富な観光資源の活用

秋田県北部地域は、世界自然遺産「白神山地」を始め、十和田八幡平国立公園などの自然資源や日本最古の木造芝居小屋「康楽館」など文化的観光資源に富んでいます。また、観光客数は減少傾向にあります。また、十和田湖、角館、秋田、男鹿間の観光流動に比べ、県北部地域の流動は少なくなっています。日沿道の整備により広域を結ぶ魅力溢れる周遊ルートの創出が図られます。

交通混雑緩和と交通事故の削減

国道7号や主要幹線道路では、冬期間は特に通勤時間帯の渋滞が発生し、また、生活交通と通過貨物車両が混在していることで事故が多く発生しています。日沿道整備により交通混雑緩和と交通事故削減が図られます。